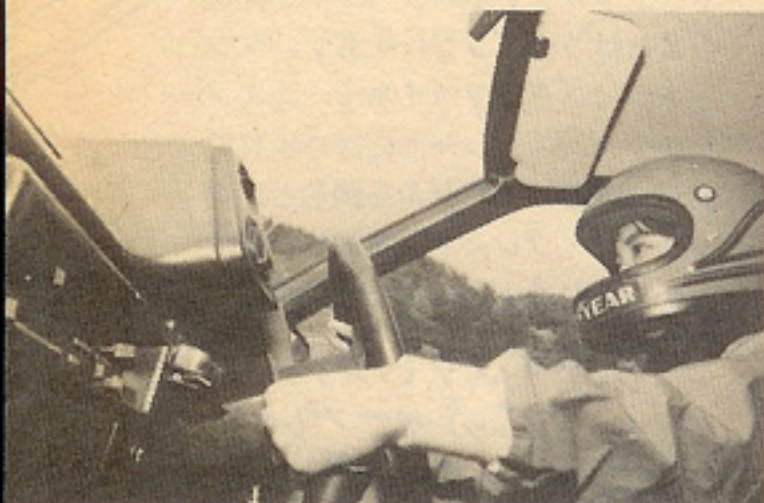


☆スリルがあって楽しい!!



規定周回数は5周。順調に周回を重ねる知加子くん。時折り我々の前を通過する時の彼女は、実に楽しそ



うだ。それと対象的なのが、同乗したカメラマン。しっかりとしがみついて、顔はどことなくひきつっている様子。「ちゃんとアイツ撮ってんのかなあ……」。コントロール前で待つスタッフは、ほとんど他人言のように好き勝手。

T.R.S.C.Cの陸野さんは、「いや結構うまく走ってますよ。初めてであれだけ走ればいい方ですよ」となかなか評価は高い。そしてピットイン。知加子くんのクルマがゆっくりとピットロードに入ってきた。

「お疲れさん。どうだった？」

「もう楽しい!! もっと乗りたい気持ちですね。いい体験をさせてもらいました」と元気よく答える彼女。ほんとにスッキリとした彼女の顔を見て、スタッフ一同大満足。ちなみに、同乗のカメラマンは「もうこんな取材は結構です。自分で運転する方がいいよ。でも、女の子としてはうまい方ですよ」と感想をひと言。

☆レースクイーンとしても活躍



念願のサーキットランを実現した彼女は、もうすっかりモータースポーツ党。「今度はライセンスを取って走りたい」とまたまた夢をふくらませている。その彼女に、今度は模擬レースのお手伝いをやってもらうことになった。

「私も一緒に走りたい」という彼女だが、ここはジッと我慢してもらって、レースクイーンとして活躍。スタート前のサインボード出しや、参加者に声援を送ったりと、笑顔を振りまいて頑張ってくれた。

体験を終えて——

「サーキットを走ってホントに楽しいものですね。でも、あの模擬レースを見ていると、私じゃとても走れそうもないわ」。

オヤ!? サーキットを走り終えた時には、あんなにAライを取ってレースに参加したいと張り切っていた彼女なのに、模擬レースでの男同士の争いを見てモータースポーツの難しさが感じられたのか、ちょっと意気消沈気味。そんな彼女に陸野さんは、「確かにサーキットを走るとするのは簡単なようで難しいものです」。



ましてレースとなれば、たくさんのライバルがいますから息を抜く暇もなくシビアです。でも、最近では女性だけのレディースクラスも設けられ、女の子がレースに参加することが多くなりましたので、1度チャレンジしてみるのもいいかもしれませんよ。彼女だったらガッツもありそうだし、いいところまで行くんじゃないかな」とうれしい言葉。それを聞いた知加子くん、「じゃあ、やってみようかな?」なんてその気になった1日でした。

1 日体験者募集

このコーナーでは、読者の方々が1度は体験してみたい、挑戦してみたいと思っていることを募集しています。内容、年齢、性格は問いませんのでどしどしご応募下さい。

採用者には、1日体験者としてこのコーナーに登場してもらいますので、我と思わん方は住所、氏名、年齢、電話番号、そして体験したいことを書いて、〒530 大阪市北区西天満5-6-10 富田町パークビル カーロード「ザ・体験」係まで。締切りはありません。